

誰もが自分らしく生きられる社会へ

100人いれば、100人の個性が光る。

性のあり方は虹のようにグラデーション。

誰もが自分らしく生きられる社会は、

誰もが安心して生きられる社会。

そんな社会を作るのは、私たち一人一人の性に対する知識と、互いの違いを当たり前のように受け入れる心です。



令和2年2月に「生野区持続可能なまちづくり支援事業」として認定！ マイノリティの安心できる社会への相互扶助システムの構築 ～全ての人々が安心して暮らせる社会へ～

今の日本の人口の約9%がLGBTQ当事者だと言われています。話題になることも増えましたが、マイノリティと言われる存在であることは変わりません。そのせいで法律で想定されていなかったり、ときにはひどいことを言われたり、困ることや辛いことがあります。それに1人で立ち向かうのは大変なので、みんなで集まって助け合い、ときには愚痴り合い、一緒に乗り越えていこうというのが設立のきっかけです。若いときには何とかなっても年を取るにつれて多くの困りごとが起こると予想できます。でも、そこから仲間を作るのは大変です。だから今のうちに友達や仲間や居場所や味方を作りましょうという活動です。

LGBTQって？

- L レズビアン** 女性を恋愛対象とする女性
- G ゲイ** 男性を恋愛対象とする男性
- B バイセクシュアル** 異性・同性のどちらも恋愛対象とする人
- T トランスジェンダー** 生まれた時の体の性別と異なる性で生きる人・生きたいと望む人
- Q クエスチョニング/クイア** 自分のセクシュアリティがまだ分からない・決めたくない人 従来の性の規範に当てはまらない人 (全てのセクシュアルマイノリティを含む)

LGBTQについて学びたい人、友達を作りたい人、LGBTQ当事者でなくても大歓迎です。理解し合い、助け合える場と一緒に作りましょう。もちろん楽しみながら！ イベント参加のお申し込みや、お問い合わせ、講師のご依頼など、いつでもお待ちしております！



法人のHPはこちら



特定非営利活動法人カラフルブランケッツ 理事長 康 純香さん (写真:朝日新聞社提供)

LGBTQ当事者の方からのメッセージ



おおくぼ のぞみ 大久保 希望さん(左) と おおくぼ あきら 大久保 暁さん(右)

LGBTQの人が悩んでいることの1つに、「誰にも言えなかった」ということが多く聞かれます。誰を好きになるか、自分の性をどう感じているかは個人の自由で、人は1人として同じ人はいません。

私はトランスジェンダーで、戸籍上の性を女性から男性に変える経験をしました。皆さんとは少し違う生き方かもしれませんが、それも1つの個性として自信をもって生きています。現在は結婚6年目になり、パートナーとその家族の理解もあって結婚することが出来ました。関係性はとても良好、いや良好すぎるほどです。温かく迎え入れてくださりとても幸せです。私の両親とパートナー家族も仲良しで、私を通さず気軽に連絡を取り合える関係です。

人と違うと感じ悩んでいる人は、違っていいのです。そのままのあなたでいいのです。自分だけが経験できる自分の人生を楽しんでいきましょう。違いを認め合うことでいらないじめ問題も無くなっていくと思います。

誰にも言えず悩んでいる人が1人でも少なくなる社会になることを願っています。

(大久保 暁さんより)

この2組の方々はカラフルブランケッツさんのメンバーでもあります。区のブログでは、さらに写真を追加して紹介しています。また、LGBTQについてもくわしく掲載しています。ぜひご覧ください！

区役所ブログ▶



うりもと じゅんこ 瓜本 淳子さん(左) と いのうえ 井上 ひとみさん(右)

私達はレズビアン同士のカップルです。日本ではまだ法律上の結婚はできませんが、2015年に結婚式を挙げました。

自分がレズビアンだとはっきり気づいた18歳当時は将来像が思い描けず、式を挙げるにあたってカミングアウトするまでは不安もありましたが、私達の関係を友人や職場の人達に話しても自然に受け入れてもらうことができました。今は家を買ってパートナーや犬達と一緒に暮らし、日々働いて、休日はパートナーと過ごしたり友人に会ったりする生活を送っています。

ご自身のお子さんが同性愛者である場合、心配する気持ちから現実を受け入れることができず、「そんな大変な生き方をしなくてもいいように治せるものなら「普通」になってほしい」と思う保護者さんの気持ちも分かります。しかし、その心配が偏見や差別の始まりだったりすることがあります。

その「普通」は誰にとっての普通でしょうか。どんな人を好きになるのか、また、ならないのかという性的指向は自分で選べるものではなく、治せるものでも治すべきものでもありません。

分からないだけで実はLGBTQの人達は身近にたくさんいます。まずLGBTQについて知ることから始めてもらえたら嬉しいです。

(井上 ひとみさんより)



結婚式の日のお二人

困っていることや、悩んでいることがあるときは相談してください。

☎06-6532-7830

(大阪市人権啓発・相談センター)

平日 9:00~20:30 日・祝 9:00~17:00 (LGBT強化相談日は、第2・4金曜日です)

★メールはいつでも受け付けています！

✉ 7830@osaka-jinken.net



問合せ 区 地域まちづくり課 4階44番

・「生野区持続可能なまちづくり支援事業」について

☎06-6715-9080 FAX06-6717-1163

・人権に関することについて

☎06-6715-9734 FAX06-6717-1163

